

「赤磐市公共施設等総合管理計画（改訂）素案に関するパブリックコメント（市民意見募集）の結果

意見募集期間 令和5年3月6日から令和5年3月20日

意見募集結果 5件（1名）

意見番号	該当部分・項目	いただいたご意見の内容（要旨）	市の考え方
1	P 7 2 8. 1. 1 公共建築物	<公共建築物のマネジメントの基本方針>①新設が必要な場合の説明中「将来にわたり必要な施設の有効活用や適正な維持修繕により長寿命化を図ります」では、「新設しない」と読める。「長寿命化を図り、必要なものに限り新設します」などの表現に変えるべきではないか。	<公共建築物のマネジメントの基本方針>の中で「①新設が必要な場合は、中長期的な総量規制の範囲内で、費用対効果を考慮して行います。」としており、「将来にわたり必要な施設の有効活用や適正な維持修繕により長寿命化を図ります」は、この前提の中での施設の活用や、維持修繕の方針を定めたものです。
2	P 7 3 8. 2. 1 公共建築物の保有量の削減目標	「令和3年度時点では、削減率0%となっています」では、いかにも無責任。7年経過して1%も削減できていない理由を記述すべきである。将来の更新費用を「86.3億円の削減となりました」と記述されているが、僅か2%の削減であり、「86.3億円の削減に止まりました」と反省の表現にすべき。	「公営住宅等を中心に施設の削減を進めてきましたが、県有施設を取得したため、令和3年度時点では、削減率0%となっています。」「2%の86.3億円の削減となりました。」に修正します。
3	P 7 4 8. 2. 2 将来コストの削減目標	<将来コスト削減のイメージ>で、長寿命化や経営効率化によるコスト削減が2187.0億円（年平均50.9%）であれば、<将来コスト削減のための基本的な考え方>の中で「更新に係る将来負担コスト52.2億円/年を削減します」は50.9億円/年の誤りではないか。	「52.2億円/円」を「50.9億円/年」に修正します。
4	P 7 6 8. 3. 3 安全性確保の実施方針	危険性が高く、利用率が極めて低い場合はその機能を他の施設に移転することにより、「廃止を検討します」ではなく、「廃止します」でよい。	公共施設については、安心・安全に利用できるよう維持修繕を最優先に取り組みます。廃止については、危険性、利用率、維持管理コスト等を総合的に勘案し検討します。
5	P 7 9 9. 1 公共建築物	今後はDXの進展により、市民が来庁しての手続き、相談は大幅に減少する。吉井支所はともかく、赤坂、熊山支所を存	「DXの進展について」は、基本方針中「行政サービスの向上や業務の効率性を高めることに」に含んでいます。御意見として今

	行政系施設	続させる必要性は低い。存続についての問題提起さえ出来なければ、総床面積50%削減など到底できない。	後の運用等の参考とさせていただきます。
--	-------	---	---------------------